2025年度 正会員に対する活動助成 採択一覧

※ 各県士会からの申請書から抜粋し作成

	県士会	活動名称	活動概要	主な支出項目	応募部門
1	東京	若手社会福祉士による入会促進プロジェクト	組織率の低下傾向に歯止めをかけ、その向上に努めることを喫緊の課題とし、30歳以下の会員による実行委員会（プロジェクトチーム）を立ち上げ、30歳以下の自主的かつ自由な発想による、若手社会福祉士が入会して活動したいと思える会に変革する活動を実施 (1) 映像コンテンツ作成 (2) 母校訪問 (3) SNS 作成	1 映像コンテンツ作成 2 フライヤー作成 3 母校訪問 4 SNS 作成	組織率向上
2	山梨県	小規模県士会の事務局 DX 強化と事務局職員の働き方改革への挑戦	1 PC 2 台の購入 2 プロジェクターと音響機器の購入 3 効果的な広報のために「社会福祉士会の活用ガイド」の作成 4 会員管理のシステムの構築	1 パソコン：2 台 2 プロジェクター、マイクスピーカー 3 会の紹介冊子製作費（デザイン料と印刷） 4 会員システム構築（業者相談システム構築依頼）	事務局機能強化
3	愛知県	組織率向上を目指した広報等活動	1 人的資源ネットワーク構築の場や出会い・交流の機会を作るために支部活動の充実を図っていくため、支部活動に携わる会員を募り、支部会員同士が交流できる機会を設けることができるよう体制整備 (1) 支部活動の強化 サロンの開催（2 回） (2) 研修の開催 (3) SNS（公式 LINE）の運用 (4) リーフレット作成	1 講師料、会場費 2 公式 LINE 運用 3 リーフレット作成	組織率向上

	県士会	活動名称	活動概要	主な支出項目	応募部門
4	京都	近畿ブロック社会福祉士会パンフレット	<p>1 近畿ブロックの各府県社会福祉士会からパンフレット作成に関わる人を選出してもらい、編集会議を実施して、パンフレット（20,000部を予定）を作成</p> <p>2 完成したパンフレットは、府県士会に送付して府県士会が実施する研修等で配布するとともに、府県士会の入会促進活動に活用する。また、近畿ブロック研究研修大会、バリアフリー展、全国大会の会場で配布できるように担当府県に必要な部数を送付。次年度以降についても、大きな変更がない限り作成したパンフレットを使用</p> <p>※日本社会福祉士会 県士会に送付</p>	<p>1 編集会議会場費</p> <p>2 編集会議謝金</p> <p>3 編集会議交通費</p> <p>4 デザイン調製 ・印刷原稿調製（入稿デジタル原稿作成）</p> <p>5 印刷代（20,000部）</p> <p>6 配送費</p>	組織率向上
5	兵庫県	会員対象新倫理綱領伝達研修事業	<p>1 既存会員対象「新倫理綱領伝達研修①」 研修日：2025年9月予定</p> <p>2 既存会員対象「新倫理綱領伝達研修②」 研修日：2026年1月予定</p> <p>3 新入会員対象「新入会員必須研修」 ※使用テキスト：「三訂 社会福祉士の倫理 倫理綱領実践ガイドブック（日本社会福祉士会編集 2022年4月15日発行 中央法規出版）」</p>	<p>1 テキスト</p> <p>2 会場費</p> <p>3 「新倫理綱領伝達研修」企画調整費</p> <p>4 テキスト送代（オンライン研修用）</p> <p>5 講師謝金</p> <p>6 講師交通費</p> <p>7 ファシリテーター謝金</p> <p>8 ファシリテーター交通費</p>	組織率向上

	県士会	活動名称	活動概要	主な支出項目	応募部門
6	島根県	ソーシャルワーカーの職能団体として取り組む活動の社会的発信 ～魅力あるホームページへの刷新とその利活用～	<ol style="list-style-type: none"> 1 現行ホームページの課題抽出及び新ホームページの構成 2 ホームページの作成及び導入 3 新ホームページ導入の効果測定及び修正 	<ol style="list-style-type: none"> 1 サイト設計 2 デザインデータ作成 3 Web サイト構築 4 システム設定 5 操作マニュアル（テキスト・動画） 6 消費税 	組織率向上
7	福岡県	入会2年目会員等の退会抑止及び若年層をはじめとした入会促進に関する両輪対策事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 入会2年目の会員全員に、秋（遅くとも11月頃）に次の物品を進呈 <ul style="list-style-type: none"> （1）研修参加費補助券 （2）福岡県社会福祉士会グッズ <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルクリアファイル ・福岡県社会福祉士会ネーム入りネックストラップ この活動を毎月の会報で「入会3年継続キャンペーン」として全会員に案内 2 2025年度は会員が2,000人の大台に到達する見込みであ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 研修参加費補助券作成費（用紙購入費） 2 オリジナルクリアファイル製作費 3 ネーム入りストラップ製作費 4 ストラップ包装用透明袋 5 トートバッグ製作費 6 ネーム入り3色ボールペン作成費 7 通信運搬費（特典発送分送料） 	組織率向上

	県士会	活動名称	活動概要	主な支出項目	応募部門
			<p>るため、2,000人目となった入会者と前後各10人計20人に記念品を進呈（3色ボールペンを予定）</p> <p>3 「永年会員特別感謝キャンペーン」として、入会10年目、20年目、30年目の会員全員に次の物品を進呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルトートバッグ <p>4 2025年度は7月頃から、入会者を紹介してくれた会員にもオリジナルグッズ（ネーム入り3色ボールペンを予定）を進呈。紹介者へも対象を拡大し実施</p> <p>5 その他大多数の会員にも不公平感を抱かせないために、「入会継続感謝キャンペーン」として、退会しなかった全会員（約2,100名）に対しても、5月号の会報にオリジナルクリアファイルを同封し進呈</p> <p>6 「若手入会促進キャンペーン」は年間通じて展開する。これまで毎年11月頃を過ぎると入会したくても年会費の負担がネックになり翌年度4月からの入会に先延ばしする入会希望者に対しても、気楽に入会出来るような態勢を整備</p>		
8	熊本県	つながる力・広がる未来 1000人会員推進プロジェクト	<p>1 ホームページのリニューアル</p> <p>2 社会福祉士のお仕事紹介カード作成（小学生・中学生向け）</p> <p>3 密着 社会福祉士の一日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手会員の社会福祉士としての仕事のリアルな一日を紹介し、仕事への関心を高める。 ・会のホームページ、YouTube、Facebook、Instagramなどで発信 <p>4 熊本県社会福祉士会のPR動画制作</p>	<p>1 ホームページのリニューアル</p> <p>2 社会福祉士のお仕事紹介カード作成（小学生・中学生向け）」デザイン・印刷費</p> <p>3 密着 社会福祉士の一日</p> <p>4 熊本県社会福祉士会のPR動画制作</p>	組織率向上